

## PRESS RELEASE

2017年1月31日  
株式会社三菱総合研究所

## 2016年10-12月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 森崎孝 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）は、内閣府より2月13日（月）に公表予定の2016年10-12月期のGDP速報（1次QE）について予測を行った。

2016年10-12月期	実質GDP	季節調整済前期比	+0.1%	（年率 +0.4%）
	名目GDP	季節調整済前期比	+0.3%	（年率 +1.1%）

2016年10-12月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.1%（年率+0.4%）と小幅のプラス成長を予測する。実質GDP成長率は、4四半期連続のプラス成長となるが、10-12月期は内需の減少が足を引っ張り、前期に比べ成長率は鈍化する見込み。

消費は、耐久消費財は持ち直しの動きを続けているものの、節約志向による旅行や衣料品の不振に加え、価格上昇による生鮮食品の消費抑制もあり、全体としては小幅マイナスを予想する。住宅投資も、高水準で推移してきた過去の反動から、4四半期ぶりのマイナスを見込む。設備投資は2四半期ぶりのプラスを予測するが、企業の投資姿勢は依然として慎重であり、均せば横ばい圏内の推移となろう。

輸出は、世界的な生産活動の持ち直しを受けて、アジア向けを中心に回復しており、季節調整済前期比+2.1%と、2四半期連続で高い伸びを予測する。一方、輸入は、低調な内需などを背景に同+0.6%と、輸出に比べれば低い伸びに止まる見込み。結果として外需寄与度は+0.2%pのプラスを予測する。

表 2016年10-12月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比（%）		2016年			
		1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 予測
実質GDP		0.7	0.5	0.3	0.1
	季調済前期比年率	(2.8)	(1.8)	(1.3)	(0.4)
民間最終消費		0.4	0.2	0.3	▲0.1
民間住宅投資		1.3	3.5	2.6	▲0.5
民間企業設備投資		▲0.3	1.4	▲0.4	0.4
民間在庫	寄与度	▲0.1	0.2	▲0.3	▲0.1
政府最終消費		1.3	▲1.1	0.3	0.2
公的固定資本形成		▲0.7	1.6	0.1	▲1.3
財・サービス輸出		0.8	▲1.3	1.6	2.1
財・サービス輸入		▲1.2	▲0.9	▲0.4	0.6
内需	寄与度	0.3	0.5	0.0	▲0.1
民需	寄与度	0.1	0.7	▲0.1	▲0.1
公需	寄与度	0.2	▲0.1	0.1	▲0.0
外需	寄与度	0.4	▲0.1	0.3	0.2
名目GDP		0.8	0.2	0.1	0.3
	季調済前期比年率	(3.1)	(1.0)	(0.5)	(1.1)
GDPデフレーター	前年同期比	0.9	0.4	▲0.2	▲0.1
国内需要デフレーター	前年同期比	▲0.3	▲0.7	▲0.8	▲0.5

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。  
表中の実績値は、2016年7-9月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。  
資料：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所。

《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号  
政策・経済研究センター 森重彰浩 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：morisige@mri.co.jp  
広報部 吉澤、渋谷 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp  
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。